

才2期大学革新闘争の更なる推進の中から、足としてこの学生運動の革命的建設を勝ちとれ！

東京都社会主义学生戦線(墨都加斗) 東京教育大支部

七項目要求・面条件のもと

大衆圖文をかちとれ！

民青の運営協議会 学園民主化路線と対決しつつ

筑波移転斗争

勝利をかちとろう！

今更に牛糞

卷之三

(1) 講義場との大衆団交であることを
(2) 故郷は6・10次定期中
心とした坂波様懇意に
であること——日体改
には「良き日本」である
(3) 団交の節度改進と上記の
尊旨を要する學生と
の間に行おられること
が議長の務事あり、故

(1) 20歳以上に計十五對
要求
口内、口唇、鼻、耳、頭部
口内
10才及十八才
頭頂
中本筋、外頭筋、頭部筋膜
頭頂
波紋筋、斜角筋
頭頂
(1) 頭皮打撲する一切の剣
分に行なひゆ
例
以上と大老母父の場合は
おじい丈もひらめく
頭皮打撲、頭皮は重性
をとこと

「教官アヘアベの即決機
、船波移動阻止斗争を責任を負
つた指導する社民主義者主戦線(フ
ロント)は敵反滿意に、大胆に
力針を掲げ、匪のエネルギー
を集中攻撃することを試みたり。即
ち、長崎西端トリケンヒスト陣頭
を據り、堅持することを前提に、
飛揚尾に封し、7月1日午条件を
もつて終え、大衆日本をならべ
べく段階的にターナを展開してこ
れに付ける。

千条件な譯故云々虚数
に七房食、更に技術的な面
などは日時、場所、代表
教)について折衝する。

以上、4条件を譯収容に要するものである。但し、譯収容からこの4条件を満足する、ほんの少い折衝な場合は、われた場合には、我々は4条件をあくまで重視すべく、その折衝に随るものである。との際、譯収容と折衝する主体は上記4条件を要求する譯の代表とする。

4条件は、譯収容を確実にされた場合、更に技術的困難を抱えども、日時、場所、代表團力を教にフリーで折衝する。

「日々をよりとろヒュウガ村と接続したのだ。ではどうぞ御心へ身体

△項目、4条件の
下、徹底した組織
化を通じて、田園
斗運動の強化が大
きなかり、大躍進を
勝ち取れ！

並びに、要求項目についての内訳は
該款と略がおこし、A項目、B系
件の優位性を確立しつゝ、C、Dと
ある。田代・監督の小説田、西原
乃代表取締の「出版集団」への選
手と、A項目、4年件との間に
安易な在籍、本表以降年するに
にはなり。なぜなら、西原の
間に、正確は精神上の対立存
在するのがあり、どうぞある終改
に、これは力重視が特徴、竹村付
け、今後の力重視を生み出雲は
るなり。我々は、「れき」と
の運動の速さ、そして、今后の力
自性のぐつこ、毎クラス、各個
部、更に自己運動「筋肉を發揮し
反対」といふべき、一つの運動、
設問、この問題は力が何をが何を
犯すか、何を犯すか、何を犯すか、
大差異である。 は、何を犯すかに
動能で日本を主導して、田代は、
何を犯すか、何を犯すか、何を犯すか、
更に、何を犯すかを主導する、國
バーにて、一の、何を犯すか、
るの、何を犯すか、何を犯すか、何を犯すか、
は、何を犯すか。そのための不満足の
選擇をして、オーバーのイデオロ
ギー案や、極端な偏見が反響と

最高に、簡單に、多面的に複数の攻撃についてのオク主体内部の構図について批判しどうづく。

中核系諸君は、「各個性をつくる努力には、機動を誤む勿論實に及の行儀がある」と主張し、把さし中核系がやる方針を「斗争の解決」として大衆的交戦に針を提起している。彼等は、問題を以上の通りに单纯化した上で、我々の方針を「斗争の解決」として大衆的交戦に一切を隠すことなく、即ちパリケード化用については一言も語られていない。明曰く本曲は面白い歟。もし彼等のいふことば真美だとするとならば、ストは曲文をみちどきの手段に附しあつらぬこいることによる。だが二点については、ほつぎりと次の次に考るまつて、我々の、①遠足曰假想圓といふ假想目標をめぐらと見るに何・長期ハリケーンスト革命は、自由の実現するむじね々江川を遡るに由りて、其地に衝突する國の内政をめぐらし、大學当局に真摯的に我々の教育改革をつきつけ、彼等を更に活潑させこゆくべく、何處自由条件での下、歌曲交響曲を設定しないのぞといふことを鮮明にしておこう。確かに、諸君の「ソーラー歌の歌題化」は有りする。だが、正の最初から足りないところは、いつか、お、しれ門核系諸君の意圖す。あらうじめ「本館、E館封鎖を守り、我々の斗争を限定し、それを維持し、」「主体的活動」と「実力斗争の思想」で武装二度の部隊を教ひ昌言して、それがまた本館裁判參院へ向ふに叫びるのである。なんぞ意味にあひこ、ソースへの攻撃と、理、謀、謀略を守り、我々の斗争を限定し、それを維持し、」「主体的活動」と「実力斗争の思想」で武装二度の部隊を教ひ昌言して、それがまた本館裁判參院へ向ふに叫びるのである。へ彼がうな嘆息半身半死につけた、口にまわるが、辰巳の事である。

共・民青の投票不正への批判の不十分性にのみどとめ、イナオロギーヨ半を諭れに展開せよといつこいしヌキのぞしならひのふる理・農・教においては、單に、民青批判だけではなく決定的に不十分であり、具体的な政治系與多様化(連加園裡)に、民青批判をも深化させ行くといづれ針がどうれねばあらほいのだ。里ヨの、一派その集団に、何故、他勢部が結集しそうい段階にあるのか、といふ要を検討してみたまえ!!